

映画「シェーナウの想い」

～自然エネルギー社会を子どもたちに～

自主上映会 in 富らの



日本の
お母さんにも
変えられる!

ドイツ南西部、黒い森のなかにある人口2,500人の小さなまちシェーナウ市
チェルノブイリ原発事故後、シェーナウの親たちが子どもたちを放射能汚染から守りたい、
子ども達の未来を守りたいという一心で活動をはじめ、自然エネルギーの電力会社を自ら作ろうと決意する。

2008年ドイツ 翻訳: 及川齊志(2012年) 上映時間: 60分

この映画は、関係者の努力とできるだけ多くの方に観てもらいたいという願いから上映料が無料となっています。

- 日時** 1回目 2013年3月10日(日) 10:00開場 10:30～上映
2回目 2013年3月11日(月) 18:30開場 19:00～上映
(託児はありませんが、お子様連れで鑑賞いただけます。)
- 場所** 富良野市女性センター 大会議室(富良野市役所斜め向かい)
〒076-0032 富良野市若松町17番1号 TEL: 0167-39-1166
- 料金** 100円(資料・場所代として) / 予約不要

主催『チャランケの会』の想い

東日本大震災から丸2年が経とうとしています。

しかし、今も福島原発事故の影響で避難を余儀なくされている方がいます。空気や食品の放射能汚染で健康被害が出ている子供たちがいます。そして原発は今も危険な状態にあり、原発で出たどうしようもなく危険なゴミが行き場をなくしつつあります。

私たち日本人は直面しているエネルギー問題に対して何ができるのでしょうか？

私たちは子どもたちと地球の未来を守るために、はっきりと『原発はいらない!』と声を出し、

ここ富良野で、小さくても私たちにできることを行動していきたいと考えます。

この映画が、たくさんの人に考え、行動する勇気を与えてくれるものであればと願います。

チャランケとは、アイヌ語で
『異議を申し立てる』という意味です。
★

協賛: わっか祭 及び ご協力いただいた皆様

主催: チャランケの会

(お問合せ) チュプカ・ブックス&コーヒー 0167-22-5219 books@cafe-chupka.com すぎやま珈琲 0167-23-5277